

紀央館高等学校

実施日時	①令和3年 4月21日(水) ②令和3年11月 5日(金)
参加者	①生徒155名、教職員15名、計170名 ②生徒446名、教職員30名、計476名
実施内容	①避難経路確認訓練 (毎年1年生 入学時に実施) ②シェイクアウト訓練 (教室/グラウンド/体育館)

ねらい

- 1 地域のハザードマップを確認し「もし地震が来たら、津波が来たら、火災になったら」どのように動いたら良いかを考える機会とする。
- 2 「自ら簡単にできる防災」を合い言葉に防災意識の育て方を学ぶ。

主なプログラム

- 1 地域のハザードマップを使った訓練。
- 2 避難することが困難な生徒をサポートする
- 3 「率先避難者たれ」の意識は忘れない。
- 4 日本中・世界中が取り組めるシェイクアウト訓練

概要

- 1 一番近い高台、時間が5分以上あればいける高台を確認する。
- 2 一定の時間に一斉にシェイクアウト訓練を行う。

参加者感想文

- ・一番にできることは、みんな避難を促す声をだすこと、できるだけ高いところへ避難していくことが大切。
- ・本校が避難場所になっている高齢者や幼児に避難を促すリーダーになるべきだと思う。

- ・もっと早く避難しないといけないと思う。

成果と課題

【成果】

シェイクアウト訓練等は何度でも、どこでもできることなので、防災意識を持たせるためには有効かと思う。

【課題】

高台への避難についてははじめから決められた場所を指定すると、そこに到達したら終わりになってしまう。津波避難は「津波てんでんこ」の言葉に代表されるようにより高台へ向かう意識が芽生えるようにしなければならない。

紀央祭（文化祭）でのシェイクアウト訓練
全校生徒がサイレンで頭を抱える

